

おおいた 金融広報 だより



(2002/6発行)

夏号

No.3

大分県金融広報委員会
事務局／大分県青少年・
男女共同参画課内
☎097-536-1111(内線3044)



名称変更のお知らせ

14年度から活動の実体に即した名称に変わります。
なお、活動内容に変更はありません。

旧名称	新名称
貯蓄生活設計(一般)推進員	金融広報アドバイザー
貯蓄生活設計(地区)推進員	金融学習グループリーダー
貯蓄生活設計普及地区	金融学習グループ
貯蓄生活設計推進員協議会	金融広報アドバイザー等協議会
貯蓄・生活設計コーナー	金融・生活設計コーナー



新規学習グループ

14年4月より学習グループが仲間入りしました。

グループ名	グループリーダー	所在地	設定期間
桃園団地	田 淵 智 加 江	大 分 市	14.4.1~17.3.31



金融広報アドバイザー

14年3月31日で2名の方が解職しました。長年にわたる活動に対して、感謝状が贈呈されました。

- 三浦 喜代 昭和53年より24年間にわたり、特に普及地区における家計簿の記帳の普及をはじめ、生活設計の指導に対して熱心に活動していただきました。
- 御手洗よし 昭和62年より15年間にわたり、生活設計診断を利用するなど幅広い世代に対応した講義を行い、大変熱心に活動していただきました。

14年度より4名が新規委嘱されました。

金融広報アドバイザー名	所在地	設定期間
平 智恵子	宇 佐 市	14.4.1~17.3.31(再委嘱)
神 鳥 慶 子	武 蔵 町	14.4.1~17.3.31
合 原 尊 徳	玖 珠 町	14.4.1~17.3.31
矢 野 英 昭	大 分 市	14.4.1~17.3.31
東 田 造	別 府 市	14.6.1~17.3.31

おかねをたいせつにつかっていますか？ ものをだいじにしていますか？

「おかね」ってなんだろう？
「おかね」はどこから、どのようにして
わたしたちのもとにやって来るんだろう？
ほしいものを買うためにあなたは
「おかね」をためたことがありますか？
「おかね」で手に入れた「もの」は
大切にしていますか？
社会の中で「おかね」はどんなふうに
活用されているか知っていますか？
どうして「おかね」をあずけると
「りし」がつくんだろう？
「おかね」は使ったらなくなってしまうけど、
きちんとふやす方法はありますか？



第35回 「おかねの作文」 コンクール

作品募集中

「おかねやものを大切に、生かして使うこと」をテーマにした作文を募集しています!!
あなたのまわりの身近なできごとや、新聞やテレビで見たニュースなどから「見たこと」「聞いたこと」「感じたこと」をもとにして、「おかねやものを大切に、生かして使うこと」をテーマに自由に書いてみよう!

応募資格 小学生および中学生

字数 400字づつ原稿用紙2~3枚

- 原稿には学校名、学年、氏名(ふりがな)をはっきりと書いてください。
- 作品は、どこにも発表されていないものに限りません。 ●応募原稿はお返ししません。

しめきり 2002年9月6日(金) ※当日消印有効

送り先 〒100-8051 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日新聞社 学生新聞本部「おかねの作文」係(Tel:03-3212-0267)

入選発表 2002年10月28日(月)の毎日新聞、毎日小学生新聞、毎日中学生新聞紙上

(なお、特選作品は金融広報中央委員会の機関誌「くらしとおかね」、毎日小学生新聞、毎日中学生新聞に掲載されます。)

※入選作の著作権は主催者に帰属します。

賞(予定) ◎特選(各賞1名に賞状と図書券を贈呈)

金融担当大臣賞/文部科学大臣奨励賞/日本銀行総裁賞/日本PTA全国協議会会長賞

金融広報中央委員会会長賞/毎日新聞社賞

○秀作(各賞5名に賞状と図書券を贈呈)

毎日小学生新聞賞/毎日中学生新聞賞

○佳作(100名に賞状と図書券を贈呈)

※応募者には全員に入選作品集をお送りします。



主催◆金融広報中央委員会/毎日小学生新聞/毎日中学生新聞
後援◆金融庁/文部科学省/日本銀行/日本PTA全国協議会

*昨年の応募数

全国(小学校2,970)(中学校13,848) 16,818
大分県(小学校 13)(中学校 122) 135

ご応募お待ちしております!



『くらしとおかね体験作文』コンクール入選者決定！

第2回の「くらしとおかね体験作文」コンクール(募集期間…平成13年12月1日～14年2月20日)応募作品543編より入選者が決定しました。

大分県からは2名の方が入選しました。おめでとうございます。

奨励賞

第3部門「こどもとおかね」

自営業 宮家 洋子

佳作

第2部門「わが家のやりくりと生活設計」
(大野町郡山女性クラブリーダー)

主婦 中澤キヨコ



紹介します！「金融学習グループ」

「大野町郡山女性クラブ」

金融学習グループリーダー 中澤 キヨコ

私たちは平成13年の4月から毎月1回、区の公民館で金融広報アドバイザーの安東サチ子さんのご指導を受けながら、楽しく学習しています。

学習内容は幅広く、生活設計を中心とした「医療費を下げる上手な医者のかかり方」や、「生活習慣病の予防法」など無駄な出費を少なくするための内容等に取り組んでいます。また時には、体力作りも兼ねて町の文化財見学の野外学習にも出かけました。

11月には町の一大行事である「大野夢フェスタ」に参加し、「くらしとおかね」のコーナーを設け「悪徳商法や商品販売法」等、金融広報中央委員会発行の情報等を皆さんに配布しました。同時に中学生以下の子どもを対象に金銭に関するアンケート調査を行いました。集約の結果、子どもたちもお金に関して深い関心を持ち、無駄遣いをあまりしていないようで、ほっとしました。お年玉をもらった額は、小学生で15,000円～20,000円。中学生では、20,000円～30,000円が多く、85%の子どもが「貯金している」と答えています。「お金を大切だと思っている」と答えた子どもが98%もいたのは予想外でした。高額のお年玉をもらっても、無駄遣いをせず大事にしていることを知り、一安心しました。

同じ場所にパソコンでの生活設計診断コーナーを設置しました。金融広報アドバイザーの安東さんに診断と、一人ひとりに詳しく説明をしていただきました。診断を受けた方は「老後について真剣に考えるようになった。」との感想が多く、大変効果があったのではと思います。

この学習をはじめた頃、「この歳になって、今更生活設計や金融について学ぶなんて…」と戸惑いを感じていた仲間も、「この一年間の学習でぐっと視野が広がった。」「自分の消費生活を見直したり、工夫したりするようになり、決して無駄ではなかった。」と喜んでいます。また、家計簿記帳にも少しずつ興味が出てきたようです。

毎月、仲間と顔を合わせて学習することがとても楽しみです。これからも仲間と手を取り合って自分たちなりに努力を続けていきたいと思っています。





広報資料の紹介

おすすめ

○「多重債務に陥らないために！」 **NEW**

ここ数年、各地で多重債務にかかわる相談が数多く寄せられている。多重債務に陥らないためのポイントを簡単にわかりやすく説明したパンフレット。

- ・個人破産の件数が、近年急増しています。
- ・借りていたお金が返せなくなり多重債務に陥る原因は、こうしたところにあります。
- ・特に、高い金利で借ると要返済額が急激に拡大することに、注意が必要です。
- ・多重債務に陥らないために、次のことに注意しましょう。
- ・多重債務に陥ったら、ともかく早めに解決のための相談をしましょう。

○「2002年新・くらしのアドバイスーこの商品・あの取引のここに注意！」(14年度版)冊子 **NEW**

11のパートでわかりやすく解説。

- ・急ピッチで増えつづける新金融商品
 - ・自己責任と消費者保護
 - ・預金 ・貯金
 - ・債務 ・株式
 - ・投資信託
 - ・個人年金と確定拠出年金
 - ・住宅ローン
 - ・生命保険
 - ・消費者ローン
 - ・各種会員権、悪徳商法など
- (ご希望の方は事務局まで(無料))



インターネット情報



金融広報中央委員会ホームページ(<http://www.saveinfo.or.jp/>)

インターネットで即時に生活診断ができる「生活設計“ミニ”」をご活用ください。

「生活設計診断“ミニ”」の特徴

- ・その場ですぐに診断結果がでる
- ・何回でも条件をかえて診断ができる
- ・迷わず入力できるようにガイダンスを設けている
- ・個人情報管理は、暗号化技術を利用し安全面に配慮している

金融広報中央委員会のホームページにはこの他にもあなたの生活設計に役立つツールが満載。

- ・資金プランシュミレーション：資金の設立、借入返済などの資金計算を簡単に行える
- ・年金シュミレーション：年金がどれくらいもらえそうか、簡単に計算できる。
- ・家計簿ソフト：生活設計はまず家計簿から！無償ソフト。
- ・家計の資産管理簿：今の資産・負債はどれくらい。便利な管理簿



事務局移転のお知らせ

今年度4月より生活環境課生活安全室内から青少年・男女共同参画課内に移転しました。

編集後記

待ちに待ったワールドカップサッカーが開幕しました。今大会も好ゲーム、波乱続出?!優勝国も気になりますね。開幕前はカメルーンフィーバー?があり世界的にも大分県は有名になったのでは…。(^_^)v このビッグイベントには、選手はもちろん、関係者の方々は随分と長い時間をかけて準備をされたことでしょう。サッカーを通じて全世界に日本と韓国をもっとたくさん知ってもらえたものと思っています。

ライフプランも同じようにしっかりと今を見つめ、これからのために準備をすることが大切です。この機会に今とこれからを見つめ直したいですね。